



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

呼吸器 腫瘍内科

あくえきしつ がんの痩せ「がん悪液質」とは？

多くのがん患者さんが、がん治療中に体重減少を経験したことがあるのではないのでしょうか？

がん治療中におこる体重減少の原因としては、①抗がん剤治療の副作用(吐き気や食欲不振、味覚障害など)によって食事が減ることでおこるものと、②食事はある程度摂れているにもかかわらず体重が減ってしまうものの2つがあるとされています。このうち②の体重減少は「がん悪液質」が原因となっている可能性が考えられます。

「がん悪液質」では、がん自体から分泌される物質やがんに対する免疫反応によって活性化するサイトカインという物質が原因で、エネルギーの浪費や筋肉量の減少が認められるようになります。そのため以前と同程度の食事が摂れていても体重が減少し、筋力も低下してしまうことで「生活の質」を低下させてしまいます。「がん悪液質」では食欲を亢進させるホルモンの分泌が低下することが分かっており、これはさらなる体重減少の原因となってしまいます。また、やせ細った姿を人に見られたくないという気持ちは、社会的な孤立にも繋がってしまうかもしれません。

最近では「がん悪液質」に対して一定の効果を示す薬剤が使用可能となっています。しかしながら、薬物療法だけでは効果不十分であり、栄養療法や運動療法などをそれぞれの患者さんの状態に応じて併用することで体重や身体機能を維持・改善していくことが大事であると考えられています。また、早い段階で「がん悪液質」を診断し、早期から治療介入していくことも重要です。

このような症状がある方は、「がん悪液質」かもしれません。
担当医や医療スタッフに相談してみましょう。

- 食欲がなくなってきた
- 体重が減ってきた
- 歩行などの軽い運動でもきつさを感じるようになった
- 体が気だるい
- 疲れやすくなってきた

(呼吸器腫瘍内科 部長 森永 亮太郎)



(裏面をご覧ください)

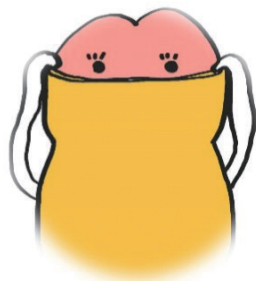
※掲載内容の詳細は各科外来・各病棟でお尋ねください。

男の子のパパ・ママなら一度は気にしたことがある「おちんちんの形」。中々周りのお友達には相談できないし、大人の男性でも正しい知識を知らなかったり… 誰に聞いたらいいの？

病気じゃないよ!

生まれたての男の子はほとんど包茎です。一部の国では“割礼(かつれい)”とって宗教的理由で生まれてすぐに余剰包皮を切ってしまうところもあります。男の赤ちゃんは、おちんちんの皮(包皮)とおちんちんの中身(亀頭)は、普通くっついてます(生理的癒着=せいりてきゆちゃく)。成長とともにおちんちんのカス(恥垢)がたまりはがれていき、小学生になったころに亀頭の一部が見えてくること多いです。小さいころはおちんちんに皮がかぶっていることは普通なのではがす必要はありません。小さい頃はおちんちんの皮の出口(包皮口)が小さいので亀頭は顔を出せません。包皮も少しずつ成長し出口が大きく、緩くなっていきます。

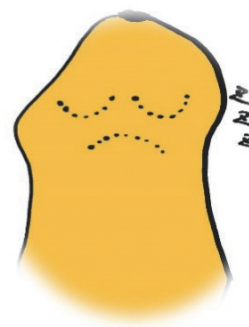
治療の必要な包茎って？



仮性包茎



嵌頓包茎



真性包茎

仮性包茎:皮をかぶっているが、おちんちんが大きく(勃起)なったり、手で剥いたりすれば剥ける。

日本人の成人男性の約80%が仮性包茎です。

嵌頓包茎:包皮口が小さくしめつけ強いため亀頭が締め付けられる状態。緊急手術にもなり得ます。

無理やり剥くとこうなることもあります。**治療対象です。**

真性包茎:包皮が剥けない状態のことです。**治療対象です。**

「勃起時に痛がる」「おしっこが飛ばない」「感染を繰り返す」などの症状を呈することもあります。その場合は治療として、手術療法・ステロイド軟こう塗布による包皮ストレッチ療法などがあります。

(小児外科 主任医師 皆尺寺 悠史)



心配な時は
恥ずかしくらずに
相談を♪



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら